

感 対 第 368 号
令和 5 年 1 月 13 日

高齢者施設・事業所 管理者 様
障害者施設・事業所 管理者 様

感染症対策担当部長

今冬のインフルエンザ発生状況の情報提供及び注意喚起について

日頃、本県の健康福祉行政の推進について御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今冬は1月12日時点で、県内で5例のインフルエンザによる学級閉鎖が報告されております。また、インフルエンザの報告数は増加傾向にあり、年末には流行開始の目安となる定点当たり1以上となり、令和5年第1週（1月2日～1月8日）には定点当たり3.19まで拡大しています。

そこで、下記のとおり県内におけるインフルエンザの直近の発生状況等を情報提供いたしますので、新型コロナウイルスとの同時流行も懸念されているインフルエンザの感染拡大防止対策について、御確認いただきますようお願いいたします。

記

1 インフルエンザに関する報道提供資料

- ・別紙1【1130 インフルエンザ学級閉鎖（初発）】
- ・別紙2【1214 インフルエンザ学級閉鎖（2例目）】
- ・別紙3【1219 インフルエンザ学級閉鎖（3例目）】
- ・別紙4【1228 インフルエンザ流行期入り】
- ・別紙5【0113 インフルエンザ学級閉鎖（4例目、5例目）】

2 インフルエンザの報告数

別紙6【インフルエンザ直近報告数】

3 情報発信

静岡県では、季節性インフルエンザを含めた感染症の発生動向について週報を作成し、毎週金曜日に県ホームページに掲載しています。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-420a/center.html>

4 注意喚起

(1) 「うつらない」・「うつさない」ための取組の徹底

- ・なるべく密を避けましょう。
- ・こまめに手洗いをしましょう。
- ・人混みや会話時のマスク着用や咳エチケット（ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い顔を他の人に向けない）を励行しましょう。
- ・十分な栄養と睡眠をとり、健康管理につとめましょう。

(2) インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症に備えて

（別紙7【予防と備えリーフレット（静岡県版）】参照）

（別紙8【乳幼児のインフルエンザ予防接種促進事業費助成の接種期間延長】）

- ・インフルエンザワクチン及び新型コロナワクチンのできるだけ早い接種を検討してください。
- ・発熱などの体調不良時に備えて、解熱鎮痛薬、生活必需品（体温計、日持ちする食料（5～7日分）など）、新型コロナ抗原定性検査キットなどを早めに購入しておきましょう。
- ・発熱、頭痛、咳等の症状が出た場合にあわてないよう、かかりつけ医療機関、静岡県発熱等診療医療機関などの電話相談窓口を確認しておきましょう。
- ・インフルエンザと診断されたら医師の指示を守って服薬し、外出を控えるとともに、家庭内でも咳エチケットを徹底し、十分な休養をとりましょう。
- ・今冬は、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行による外来医療機関のひっ迫が懸念されていますので、企業や学校等は、従業員や児童等が体調不良で療養を開始する際に、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の検査結果を証明する書類や診断書を求めないように御配慮ください（復帰する際の検査の陰性証明や治癒証明も同様です）。

担 当 健康福祉部 感染症対策局
感染症対策課 感染症対策班
電話番号 054-221-2986

発表日 2022/11/30
タイトル インフルエンザによる学級閉鎖
担当 健康福祉部 感染症対策局感染症対策課
連絡先 感染症対策班
TEL 054-221-2986



インフルエンザに注意しましょう！ ～県内で、インフルエンザによる学級閉鎖の報告がありました～

県内で今シーズン(令和4年9月5日～)初めてのインフルエンザによる学級閉鎖の報告がありましたのでお知らせいたします。

インフルエンザによる学級閉鎖報告は**令和2年3月11日以来、2年8ヵ月ぶり(3シーズンぶり)**です。

静岡市内の高等学校から報告があり、概要は次のとおりです。

今後、感染が拡大し流行が始まることが懸念されますので、注意喚起いたします。

1 概要

- (1)施設所在地 静岡市駿河区
在籍者数 756人(19学級)
閉鎖措置をした学級の状況

学級数	在籍者数	患者数	欠席者数	閉鎖期間
1	39	10	10	11月28日～11月30日

※患者数は、インフルエンザ陽性者に加えインフルエンザ様症状を認めた者を含みます。
※患者数、欠席者数の中には、新型コロナウイルス感染症の陽性者及び濃厚接触者は含まれません。

2 注意喚起

- (1)「うつらない」・「うつさない」ための取組の徹底
- なるべく密を避けましょう
 - こまめに手洗いをしましょう
 - 人混みや会話時のマスク着用や咳エチケット(ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い顔を他の人に向けてない)を励行しましょう
 - 十分な栄養と睡眠をとり、健康管理につとめましょう
- (2)インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症にそなえて
- インフルエンザワクチン及び新型コロナワクチンのできるだけ早い接種を検討してください
 - 発熱などの体調不良時にそなえて、解熱鎮痛薬、生活必需品(体温計、日持ちする食料(5～7日分)など)、新型コロナ抗原定性検査キットなどを早めに購入しておきましょう
 - 発熱、頭痛、咳等の症状が出た場合にあわてないよう、かかりつけ医療機関、静岡県発熱等診療医療機関などの電話相談窓口を確認しておきましょう
 - インフルエンザと診断されたら医師の指示を守って服薬し、外出を控えるとともに、家庭内でも咳エチケットを徹底し、十分な休養をとりましょう
 - 今冬は、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行による外来医療機関のひっ迫が懸念されていますので、企業や学校等は、従業員や児童等が体調不良で療養を開始する際に、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の検査結果を証明する書類や診断書を求めないように御配慮ください(復帰する際の検査の陰性証明や治療証明も同様です)

3 その他

(1) インフルエンザ流行状況(感染症発生动向調査による定点医療機関患者報告数)

地区別	第44週 (10/31～11/6)	第45週 (11/7～11/13)	第46週 (11/14～11/20)
静岡県	0	0.03	0.03
全国	0.06	0.08	0.11

※県内の定点医療機関数:139(内科50、小児科89)

※インフルエンザの定点当たりの患者報告数は、1定点当たり1週間の平均患者数です。

※流行開始の目安とされている報告数は1、注意報レベルは10、警報レベルの開始は30です。

(2) 季節性インフルエンザによる学級閉鎖(シーズン初)と流行開始等

区分	学級閉鎖 (シーズン初)	流行開始 超過時点	注意報レベル 超過時点	警報レベル 超過時点	報告数の ピーク
2022-2023 (R4-R5)	2022/11/28				
2021-2022 (R3-R4)	—	—	—	—	2022年第3週 (1/17～1/23) 0.04 (全県で5名)
2020-2021 (R2-R3)	—	—	—	—	2020年第50週 (12/7～12/13) 0.02 (全県で3名)
2019-2020 (R1-R2)	2019年第36週 2019/9/2	2019年第44週 (10/28～11/3) 1.15	2019年第51週 (12/16～12/22) 13.58	—	2020年第4週 (1/20～1/26) 22.27
2018-2019 (H30-H31)	2018年第42週 2018/10/16	2018年第50週 (12/10～12/16) 1.41	2019年第1週 (12/31～1/6) 17.66	2019年第2週 (1/7～1/13) 52.22	2019年第3週 (1/14～1/20) 69.42
2017-2018 (H29-H30)	2017年第39週 2017/9/25	2017年第47週 (11/20～11/26) 1.65	2017年第51週 (12/18～12/24) 13.99	2018年第2週 (1/8～1/14) 39.76	2018年第3週 (1/15～1/21) 67.92
2016-2017 (H28-H29)	2016年第37週 2016/9/12	2016年第47週 (11/21～11/27) 1.45	2017年第1週 (1/2～1/8) 12.32	2017年第3週 (1/16～1/22) 33.20	2017年第4週 (1/23～1/29) 47.40

※季節性インフルエンザによる学級閉鎖から流行開始までの期間
概ね8週程度(流行のあった直近4シーズンの傾向)

インフルエンザ週別保健所別報告数2022年

保健所名	36週		37週		38週		39週		40週		41週		42週		43週		44週		45週		46週		合計罹患数
	罹患数	定点当り																					
県合計	0		1	0.01	1	0.01	2	0.01	1	0.01	1	0.01	1	0.01	0		0		4	0.03	4	0.03	15
賀茂																							0
熱海																			1	0.17			1
東部																			1	0.06	1	0.06	2
御殿場									1	0.17									2	0.33	3	0.50	6
富士											1	0.07											1
静岡市							1	0.04					1	0.04									2
中部					1	0.06	1	0.06															2
西部																							0
浜松市			1	0.04																			1
全国	133	0.03	111	0.02	78	0.02	51	0.01	68	0.01	97	0.02	106	0.02	153	0.03	270	0.06	407	0.08	546	0.11	

季節性インフルエンザによる学級閉鎖状況まとめ

区分	学級閉鎖施設数（内訳）	学級数	在籍者数	患者数	欠席者数
2021-2022 (R3-R4)	-	-	-	-	-
2020-2021 (R2-R3)	-	-	-	-	-
2019-2020 (R1-R2)	492施設 (34高等学校、 86中学校、 287小学校、 66幼稚園、 7保育所、 9こども園、 3特別支援学校、 0高等専門学校)	1,118	31,047	10,015	9,129
2018-2019 (H30-R1)	692施設 (68高等学校、 120中学校、 333小学校、 145幼稚園、 4 保育所、 13こども園、 9 特別支援学校、 0 高等専門学校)	1,944	53,162	16,970	15,428
2017-2018 (H29-H30)	817施設 (57高等学校、 156中学校、 394小学校、 172幼稚園、 9 保育所、 17こども園、 11特別支援学校、 1 高等専門学校)	2,598	71,307	22,729	20,403
2016-2017 (H28-H29)	718施設 (76高等学校、 153中学校、 313小学校、 146幼稚園、 9 保育所、 7 こども園、 13特別支援学校、 1 高等専門学校)	2,005	56,824	17,963	15,834

記者提供資料

発表日:令和4年12月14日

タイトル:インフルエンザ施設別発生状況について

担当:健康福祉部 感染症対策課

連絡先:054-221-2986 感染症対策班

インフルエンザ施設別発生状況について【第2報(12月13日受付分)】

番号	施設概要				閉鎖等の措置をした学級の状況				閉鎖等の期間	初発・再発の別	備考
	名称	所在地	在籍者数	学級数	学級数	在籍者数	患者数	欠席者数			
1	小学校	磐田市	487	22	1	28	9	9	12月12日～12月18日	初発	学級閉鎖
本日合計	1小学校				1	28	9	9			
本日までの累計(実数)	2施設 (1高等学校、0中学校、1小学校、0幼稚園、 0保育所、0こども園、0特別支援学校、0高等専門学校)				2	67	19	19			

* 在籍者数、患者数及び欠席者数は、閉鎖措置がとられる直前の数です。

* 患者数は、欠席者及び罹患登校者を含めて計上してあります。(したがって、欠席者数は患者数に再掲されています。)

* 初発・再発の別欄は、同じ学級で同一週に複数回学級閉鎖をした場合に再発と記入しています。

* 発生報告については、全国一律に令和4年9月5日から新しいシーズンとして集計・公表しています。

* 本報告は、インフルエンザ様疾患(「38度以上の発熱かつ急性呼吸器症状(鼻汁、鼻閉、咽頭痛又は咳のいずれか1つ以上)」)を対象としています。

ただし新型コロナウイルス感染症患者及び濃厚接触者は除きます。

* 前回の発表(今シーズン県内初発)・・・令和4年11月30日(静岡市内高校)

記者提供参考資料

発表日:令和4年12月19日

タイトル:インフルエンザ施設別発生状況について【第3報】

担当:健康福祉部 感染症対策課

連絡先:054-221-2986 感染症対策班

インフルエンザ施設別発生状況について【第3報(12月16日受付分)】

番号	施設概要				閉鎖等の措置をした学級の状況				閉鎖等の期間	初発・再発の別	備考
	名称	所在地	在籍者数	学級数	学級数	在籍者数	患者数	欠席者数			
1	小学校	牧之原市	155	8	1	26	6	6	12月12日 ~ 12月14日	初発	学年閉鎖
本日合計	1小学校				1	26	6	6			
本日までの累計(実数)	3施設 (1高等学校、0中学校、2小学校、0幼稚園、0保育所、0こども園、0特別支援学校、0高等専門学校)				3	93	25	25			

* 在籍者数、患者数及び欠席者数は、閉鎖措置がとられる直前の数です。

* 患者数は、欠席者及び罹患登校者を含めて計上してあります。(したがって、欠席者数は患者数に再掲されています。)

* 初発・再発の別欄は、同じ学級で同一週に複数回学級閉鎖をした場合に再発と記入しています。

* 発生報告については、全国一律に令和4年9月5日から新しいシーズンとして集計・公表しています。

* 本報告は、インフルエンザ様疾患(「38度以上の発熱かつ急性呼吸器症状(鼻汁、鼻閉、咽頭痛又は咳のいずれか1つ以上)」)を対象としています。

ただし新型コロナウイルス感染症患者及び濃厚接触者は除きます。

* 前回の発表・・・令和4年12月14日(磐田市内小学校)

提供日 2022/12/28
タイトル インフルエンザの流行期に入りました
担当 健康福祉部 感染症対策局感染症対策課
連絡先 感染症対策班
TEL 054-221-2986



—危機管理情報—

～インフルエンザの流行期に入りました！～

2022年第51週（12/19～12/25）の感染症発生動向調査で、静岡県内のインフルエンザの定点当たり報告数が **1.00人** に増加し、**流行開始**の目安とされている1以上となり、**流行期に入りました**。過去2年、新型コロナウイルス感染症の影響等によりインフルエンザの流行はなく、定点当たりの報告数が1以上となったのは、2020年の流行期最終週である第10週（3/2～3/8）以来、約2年9ヵ月ぶりです。今後、流行が拡大することが考えられますので、県民の皆様には、感染拡大防止に努めていただくようお願いします。

0.25 ⇒ 0.40 ⇒ **1.00**
(12/5～12/11) (12/12～12/18) (12/19～12/25)

<参考>

- インフルエンザの定点当たりの報告数とは、県内の小児科、内科併せて139の定点医療機関の1医療機関当たりの1週間の患者数です。
- 流行開始の目安とされている報告数は1、注意報レベルは10、警報レベルの開始は30、警報レベルの終息は10です。
- 2022年第51週の定点医療機関からの報告では約9割がインフルエンザA型、1割がB型でした。
- 第50週（12/12～12/18）に青森県、岩手県、東京都、神奈川県、富山県及び熊本県で流行期に入っており、県外へ出かける場合にも注意が必要です。
- 厚生労働省によると、インフルエンザワクチンは十分な量が確保されています。

注意喚起

(1) 「うつらない」・「うつさない」ための取組の徹底（新型コロナウイルス対策と同じです）

- なるべく密を避けましょう
- こまめに手洗いをしましょう
- 人混みや会話時のマスク着用や咳エチケット（ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い顔を他の人に向けない）を励行しましょう
- 十分な栄養と睡眠をとり、健康管理につとめましょう

(2) インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症にそなえて

- インフルエンザワクチン及び新型コロナワクチンのできるだけ早い接種を検討してください
- 発熱などの体調不良時にそなえて、解熱鎮痛薬、生活必需品（体温計、日持ちする食料（5～7日分）など）、新型コロナ抗原定性検査キットなどを早めに購入しておきましょう
- 発熱、頭痛、咳等の症状が出た場合にあわてないよう、かかりつけ医療機関、静岡県発熱等診療医療機関などの電話相談窓口を確認しておきましょう
- インフルエンザと診断されたら医師の指示を守って服薬し、外出を控えるとともに、家庭内でも咳エチケットを徹底し、十分な休養をとりましょう
- 今冬は、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行による外来医療機関のひっ迫が懸念されていますので、企業や学校等は、従業員や児童等が体調不良で療養を開始する際に、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の検査結果を証明する書類や診断書を求めないように御配慮ください（復帰する際の検査の陰性証明や治癒証明も同様です）

季節性インフルエンザの流行開始等

区分	流行開始 時点	注意報レベル 超過時点	警報レベル 超過時点	報告数の ピーク
2022-2023 (R4-R5)	2022年第51週 (12/19~12/25) 1.00			
2021-2022 (R3-R4)	—	—	—	2022年第3週 (1/17~1/23) 0.04 (全県で5名)
2020-2021 (R2-R3)	—	—	—	2020年第50週 (12/7~12/13) 0.02 (全県で3名)
2019-2020 (R1-R2)	2019年第44週 (10/28~11/3) 1.15	2019年第51週 (12/16~12/22) 13.58	—	2020年第4週 (1/20~1/26) 22.27
2018-2019 (H30-H31)	2018年第50週 (12/10~12/16) 1.41	2019年第1週 (12/31~1/6) 17.66	2019年第2週 (1/7~1/13) 52.22	2019年第3週 (1/14~1/20) 69.42
2017-2018 (H29-H30)	2017年第47週 (11/20~11/26) 1.65	2017年第51週 (12/18~12/24) 13.99	2018年第2週 (1/8~1/14) 39.76	2018年第3週 (1/15~1/21) 67.92
2016-2017 (H28-H29)	2016年第47週 (11/21~11/27) 1.45	2017年第1週 (1/2~1/8) 12.32	2017年第3週 (1/16~1/22) 33.20	2017年第4週 (1/23~1/29) 47.40

※流行開始から注意報レベルまでの期間：約4～7週程度

記者提供参考資料

発表日: 令和5年1月13日

タイトル: インフルエンザ施設別発生状況について【第4報】

担当: 健康福祉部 感染症対策課

連絡先: 054-221-2986 感染症対策班

インフルエンザ施設別発生状況について【第4報(1月12日受付分)】

番号	施設概要				閉鎖等の措置をした学級の状況				閉鎖等の期間	初発・再発の別	備考
	名称	所在地	在籍者数	学級数	学級数	在籍者数	患者数	欠席者数			
1	小学校	長泉町	854	30	1	30	7	7	1月11日 ~ 1月12日	初発	学級閉鎖
2	中学校	沼津市	123	9	1	21	5	4	1月12日 ~ 1月13日	初発	学年閉鎖
本日合計	1小学校、1中学校				2	51	12	11			
本日までの累計(実数)	5施設 (1高等学校、1中学校、3小学校、0幼稚園、 0保育所、0こども園、0特別支援学校、0高等専門学校)				5	144	37	36			

* 在籍者数、患者数及び欠席者数は、閉鎖措置がとられる直前の数です。

* 患者数は、欠席者及び罹患登校者を含めて計上してあります。(したがって、欠席者数は患者数に再掲されています。)

* 初発・再発の別欄は、同じ学級で同一週に複数回学級閉鎖をした場合に再発と記入しています。

* 発生報告については、全国一律に令和4年9月5日から新しいシーズンとして集計・公表しています。

* 本報告は、インフルエンザ様疾患(「38度以上の発熱かつ急性呼吸器症状(鼻汁、鼻閉、咽頭痛又は咳のいずれか1つ以上)」)を対象としています。

ただし新型コロナウイルス感染症患者及び濃厚接触者は除きます。

* 小中一貫学校は初等部を小学校、中等部を中学校として計上しています。

* 前回の発表・・・令和4年12月19日(牧之原市内小学校)

季節性インフルエンザ報告数

2023年01週(01月02日～01月08日)

2023年1月12日集計

保健所名	報告数	定点あたり
全国	23139	4.73
静岡県	444	3.19
賀茂	11	3.67
熱海	29	4.83
東部	41	2.05
御殿場	55	9.17
富士	52	3.47
静岡市	82	3.28
中部	55	3.24
西部	58	3.05
浜松市	61	2.18

※定点あたりの報告数：県内の小児科、内科あわせ139の
定点医療機関の1医療機関あたりの1週間の患者数
(流行開始目安：1 注意報レベル：10 警報レベル：30)

この冬は、ワクチン接種・新型コロナ抗原定性検査キット・解熱鎮痛薬の準備を

! 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時に流行すると、発熱外来がひっ迫する可能性があります。

感染が拡大する前の接種をご検討ください



・ **新型コロナワクチンの接種**
新型コロナワクチンの早期の接種をお願いします。



(静岡県大規模接種会場)

・ **インフルエンザワクチンの接種**
65歳以上の方、小学生以下の方、基礎疾患をお持ちの方は、早めの接種をお願いします。3歳未満は費用の一部を県が助成します。



(3歳未満のインフルエンザ予防接種費用の一部を助成します)

発熱などの体調不良時にそなえて、 早めに購入しておきましょう



- ・ **解熱鎮痛薬**
かかりつけ薬剤師・薬局にお気軽にご相談ください。
- ・ **生活必需品（体温計、日持ちする食料（5～7日分）など）**
- ・ **新型コロナ抗原定性検査キット**
「研究用」ではなく国が承認した「医療用」もしくは「一般用」のキットを使用してください。

国が承認した検査キットの一覧



(医療用)



(一般用)

もしものときあわてないように 電話相談窓口などを確認しておきましょう

チェック!

まずは、**自身のかかりつけ医療機関の連絡先**

かかりつけ医がない方は

インターネットで検索

- ・ 医療ネットしずおか
- ・ 静岡県発熱等診療医療機関



(医療ネットしずおか)



(静岡県発熱等診療医療機関)

電話の場合はこちら（お住まいにより電話番号が異なります）

- ・ 静岡市 054-249-2221
- ・ 浜松市 0120-368-567
- ・ 県内（静岡市、浜松市以外） 050-5371-0561

静岡子ども救急電話相談 #8000

救急車利用マニュアル



(救急車利用マニュアルについて)

提供日 2023/01/13
タイトル 乳幼児のインフルエンザ予防接種促進事業費助成の接種対象期間を延長します
担当 健康福祉部 感染症対策局感染症対策課
連絡先 感染症対策班
TEL 054-221-2986



乳幼児のインフルエンザ予防接種促進事業費助成の 接種対象期間を延長します

要 旨

インフルエンザについては、昨年末、本県も定点観測で1.0を超え流行期に入り、その後も流行が拡大しております。また、新型コロナウイルス感染症も拡大が続き、同時流行になりつつあります。

この様な中で、当初の想定よりもインフルエンザの流行開始時期が遅かったことから、インフルエンザ予防接種の費用の一部を助成する事業について、**予防接種の接種対象期間を延長**します。

(1) 接種対象期間の延長

区 分	変更前	変更後
接種対象期間	令和5年1月31日まで	令和5年2月28日まで
申請締切	令和5年2月10日まで	令和5年3月7日まで

(2) 制度概要

・過去2シーズン流行がなかったため免疫がない3歳未満の乳幼児のインフルエンザ予防接種の費用の一部を助成し、新型コロナウイルス感染症との同時流行による小児医療提供体制のひっ迫を軽減することを目的とする。

区 分	内 容
事業名	インフルエンザ予防接種促進事業費助成
対象者	接種時に生後6か月から 令和4年4月1日現在3歳未満の者
助成額	1回当たり 上限2,000円 (1人当たり2回まで)
申請方法	県ホームページから電子申請



電子申請はこちらのQRコードから⇒

季節性インフルエンザの流行開始等(定点当たり)

区分	流行開始 時点	注意報レベル 超過時点	警報レベル 超過時点	報告数の ピーク
2022-2023 (R4-R5)	2022年第51週 (12/19~12/25) 1.00			
2021-2022 (R3-R4)	—	—	—	2022年第3週 (1/17~1/23) 0.04 (全県で5名)
2020-2021 (R2-R3)	—	—	—	2020年第50週 (12/7~12/13) 0.02 (全県で3名)
2019-2020 (R1-R2)	2019年第44週 (10/28~11/3) 1.15	2019年第51週 (12/16~12/22) 13.58	—	2020年第4週 (1/20~1/26) 22.27
2018-2019 (H30-H31)	2018年第50週 (12/10~12/16) 1.41	2019年第1週 (12/31~1/6) 17.66	2019年第2週 (1/7~1/13) 52.22	2019年第3週 (1/14~1/20) 69.42
2017-2018 (H29-H30)	2017年第47週 (11/20~11/26) 1.65	2017年第51週 (12/18~12/24) 13.99	2018年第2週 (1/8~1/14) 39.76	2018年第3週 (1/15~1/21) 67.92
2016-2017 (H28-H29)	2016年第47週 (11/21~11/27) 1.45	2017年第1週 (1/2~1/8) 12.32	2017年第3週 (1/16~1/22) 33.20	2017年第4週 (1/23~1/29) 47.40

※インフルエンザの定点当たりの報告数: 県内の小児科、内科併せて139の定点医療機関
の1医療機関当たりの1週間の患者数